

田中農園 株式会社（福井県坂井市）

組織の概要

- H28年に個人農家から農業法人へと発展継承する形で設立
- 従業員 13名（役員2名 正社員5名 パート・アルバイト6名）(R7)
- 経営圃場 118ha (R7)
- 作物ごとに班を編成し、班内で作付計画・管理までを担当 → 分業効率化の実現



会社外観と小麦圃場

生産概要

- 【作付面積】水稲：88.5ha、小麦：27.6ha、大豆：21.0ha (R7)
- 2年3作の輪作（稲→小麦→大豆）、ブロックローテーション実施
- 水稲、小麦、大豆で各々の実需者に合わせた作付を展開
- 所得増加と経営の安定化を図るため、R4より小麦の作付を開始し、R5から作付を本格化



ドローンによる追肥の様子

取組のポイント

<需要に応じた生産を徹底>

- 実需者との意見交換を定期的実施し、作付けする品種を決定。現在は実需者の要望を踏まえ“ゆめちから”から“せとのほほえみ”への切り替えを検討中

<近隣圃場を一元的に受け入れ、適地圃場の確保・適期作業できる環境を構築>

- 周辺集落と度重なる協議を経て、経営圃場を大規模化
- 事業を活用し、弾丸暗渠の施行や同時畝立播種技術を導入
- 近隣圃場で小麦を作付することにより、小麦圃場を常に管理できる状態に
- 作業記録をデジタル化し、各圃場での作業時間を“見える化”
- 作業マニュアルを搭載した自社アプリを開発し、どの従業員でも作業可能な体制を準備



地域計画協議の様子

取組成果

<小麦生産の高位安定化、安定した農業所得の確保を実現>

- R4から小麦の生産参入にあたって、ブロックローテーション計画策定に注力し、作付面積安定化を達成 → 今後は事業で導入した技術を活用しつつ面積拡大を企画
- 生育診断に基づく施肥により単収8.3%増加（単収：406kg/10a (R5) → 440kg/10a (R7)）
- 圃場に5m間隔で溝を掘り明渠を整備するとともに、弾丸暗渠を張り巡らせ排水機構を整備することで、北陸の湿害が生じやすい環境でも高収量を確保
- 碎土率を高め、発芽や初期成育における均一性を確保
- 実需者と直接連携し、社内で乾燥調製までを行うことで、施設利用費・運搬・保管等の中間コストを削減

